

# 常任委員会視察研修報告

## 総務産業建設常任委員会

日 程 令和 7 年 2 月 13 日 (木)

目 的 新丸山ダム及び国道 418 号線付替工事現場視察

視察先 新丸山ダム及び国道 418 号線 (八百津町地内)

出席者 議員／山田委員長、酒井副委員長、佐曾利議長、

福田副議長、井戸議員

帯同／渡邊町長、山田建設課長、吉田議会事務局長



### 報告者 山田 直行 委員長

新丸山ダム建設事業は、昭和 31 年に完成した丸山ダムを嵩上げすることで洪水調節機能の強化等を目的として昭和 61 年から事業に着手し、ダム本体工事を令和 3 年から着手している事業です。議会では、昨今の気象異常による豪雨や洪水などの災害対策における治水事業及び、町にも関わりのある国道 418 号線のダム建設に伴う付替え工事の現況を理解することは重要なこととありますので、この機会に、治水事業に対して理解を深めるために視察研修を実施しました。

新丸山ダムや国道 418 号線に架橋される日本最大級のアーチ橋などは、近年稀にみる国家直営の大規模工事ではありますが、最新の技術を駆使して、安全や環境に配慮した工事を行っており、工事 DX 化や働き方改革につながる工事であると感じました。

また、国道 418 号線の付替工事によって道路や橋が新しく完成することで、加茂郡のみならず岐阜県内の流通や経済発展を望めることとなります。また、工事の段階から、「新丸山ダム水源地域協議会」を立ち上げ、近隣市町の自然・文化・伝統等の地域資源と新丸山ダム建設に伴う基盤整備等を活用し、周辺地域の振興に資する効果的な施策を検討しており、地域の魅力を高め、地域の満足度を継続的に高める地域振興について活動を行っていることが印象的でした。

また、新丸山ダム建設は洪水対策と水供給の安定化に不可欠ですが、環境への影響と膨大な建設費が心配されるところであります。そのため、周辺地域の理解を得ながら環境や経済のバランスを取っていく必要があると感じました。

わが町においても、国道 418 号線の沿線として、その相乗効果を促すための方策を考えなければならないことだと思われま。特に国道 418 号線の道の駅であります「半布里の郷とみか」の活用をはじめ、沿線市町村として地域振興を行い、それがあらゆる分野での産業振興につながればと思います。



国土交通省中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所



新丸山ダム工事現場



新丸山ダム工事現場



国道 418 号線付替工事現場 (アーチ橋)



国道 418 号線付替工事現場 (アーチ橋)



国道 418 号線付替工事現場 (アーチ橋)